

# 令和7年度 野洲中学校 学校評価アンケート集計結果

保護者の皆さま

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
さて、12月には、お忙しい中「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。今年度も、昨年度に続きオンラインによる回答とさせていただきます。メールによる回答の呼びかけや案内文にQRコードをつけてお願いしました。今年度も回答期間が年末の時期で短かったため、幾度か期間延長して、ご協力いただきました。回答率は昨年度より低下したものの、半数以上の方に回答いただきました。ご協力に重ねてお礼申し上げます。

このたび、アンケート結果について、学校運営協議会の皆さまとともに考察を行いましたので、報告させていただきます。今回の結果について、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で真摯に振り返り、子どもたちの成長のため、各自ができることをさらに推進していきたいと考えています。

令和8年(2026年)3月2日

野洲中学校 校長 吉田 享史

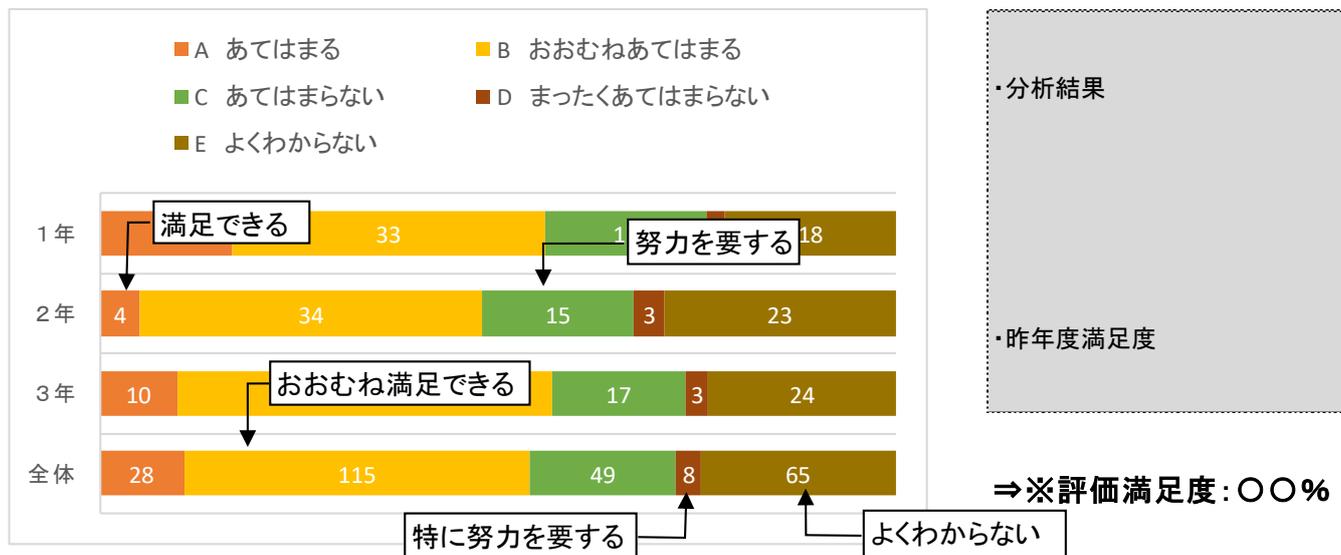
・調査日 令和7年12月1日～12月28日  
・対象者 野洲中学校保護者 265 名 生徒数 489 名

	R3	R4	R5	R6	R7
回答総数(人)	353	372	281	323	265
回収率(%)	68.4%	73.5%	55.0%	63.8%	54.2%

## 集計結果の見方(例)

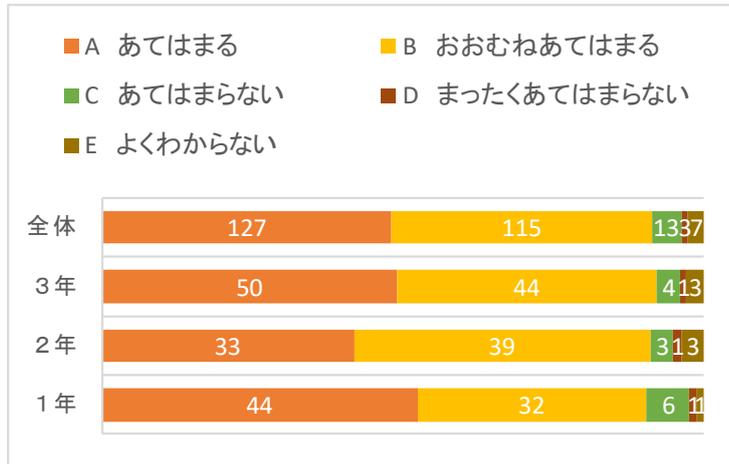
質問項目

### 4. 学校は、読書活動の時間を設定し、読書習慣が身につくようにしている



- ・評価満足度とは(A満足+Bおおむね満足)の合計の割合(%)です。
- ・自由記述につきましては、掲載しておりません。

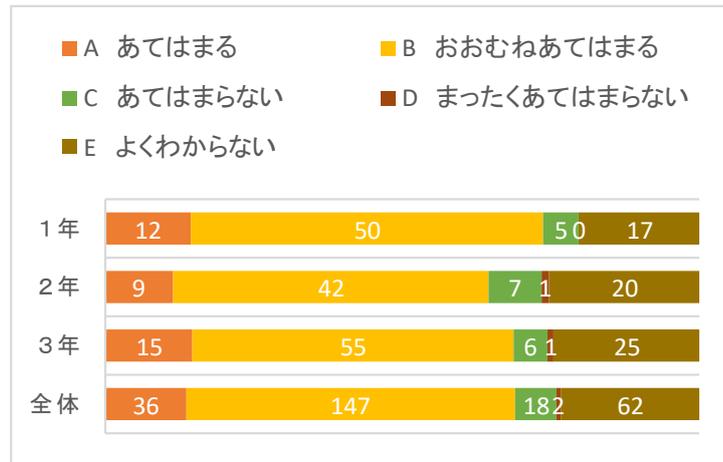
## 1. 子どもは、学校へ楽しく通っている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生90% 2年生91% 3年生86%  
となりました。  
すべての子どもたちにとって、学校が安全安心でそれぞれが居心地のよい場所となることが重要です。すべての生徒が「安心できる」「安全に過ごせる」「友人と楽しく過ごせる」等と感じられるよう、引き続き生徒一人ひとりの受容感を高められるよう、教職員でしっかり連携をして、温かく見守っていききたいと思います。  
そして、きめ細やかな支援ができるように、より一層丁寧な取組を進めていきたいと思っています。  
(昨年度満足度 87%)

評価満足度 91%

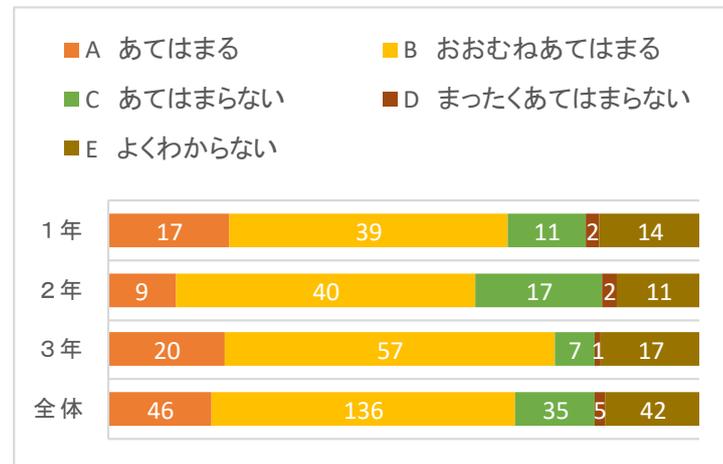
## 2. 学校は、生徒の学ぶ力向上にむけ、教材研究や工夫した授業を進めている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生74% 2年生65% 3年生69%  
となりました。  
昨年度に引き続き、授業の振り返りや自分の考えをまとめて表現する言語活動に工夫した取り組みを進めました。タブレット端末を活用して学習内容を個別に視覚化したり、画像や映像を大型モニターに写して見やすくするなど、学習支援をしています。また、生徒が主体的に活動して学びを深める「支える授業」の実践にも取り組んでいます。子どもたちが「わかった」と実感できる授業、自ら学びを進めていく授業づくりに努めています。(昨年度満足度 61%)

評価満足度 69%

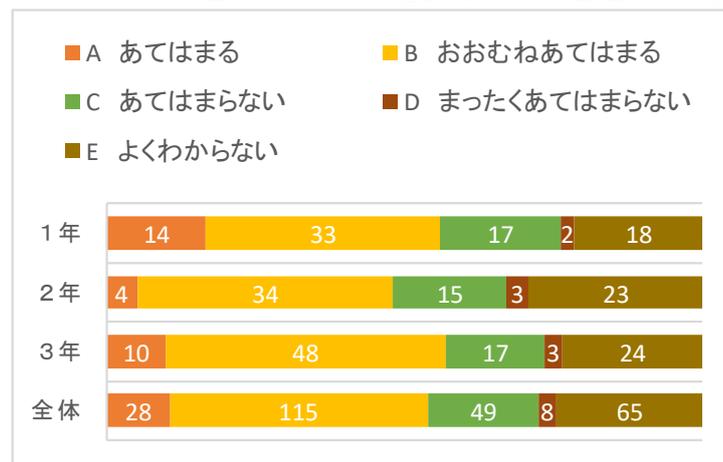
## 3. 学校は、適切な宿題を設定し、家庭学習の計画や方法を助言している。



学年ごとの評価満足度は  
1年生67% 2年生62% 3年生75%  
となりました。  
テスト前の質問教室は多くの生徒が参加しています。わかりたい、できるようになりたいという生徒の思いに今後も一層真摯に応えていきたいと思っています。また家庭学習については、宿題の提示の仕方や十分な時間の確保を設定した上での内容の精選など、宿題の設定について教員が工夫と改善を図っていく必要があると感じています。家庭での学習について、生徒とともに今一度確認しながら取組を進めていきたいと考えています。(昨年度満足度 49%)

評価満足度 69%

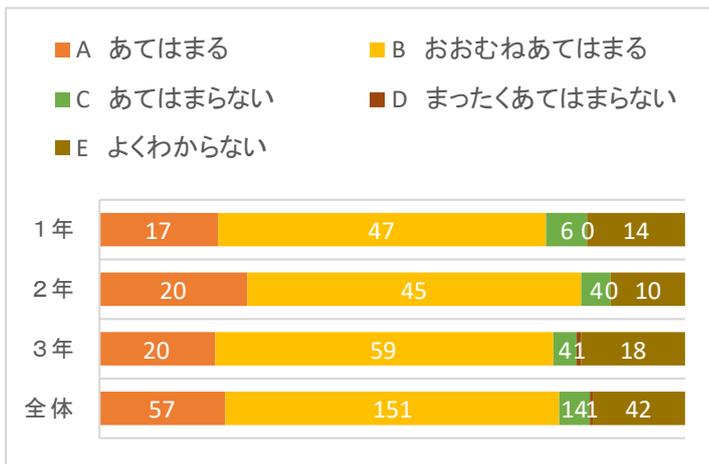
## 4. 学校は、読書活動の時間を設定し、読書習慣が身につくようにしている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生56% 2年生48% 3年生57%  
となりました。  
毎朝5分~7分程度、朝読書の時間を設けています。短時間ですが、日々の取組が習慣化しつつあります。また、市図書館からの「としょかんBOX」が各教室にあり、本と出会うきっかけともなっていますが、利用について今後も啓発が必要だと思います。図書館ボランティアや図書館司書による環境整備で、図書室の環境が整ってきました。今後は生徒会委員会や教科での利用など、読書習慣の向上への取組を充実させていきたいと思っています。(昨年度満足度 43%)

評価満足度 54%

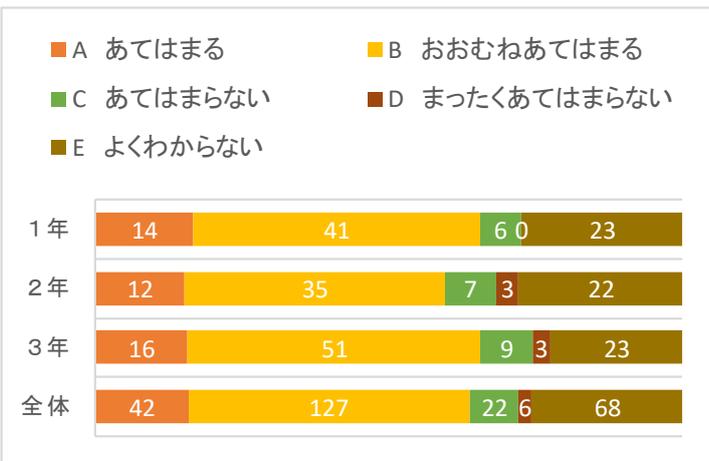
### 5. 学校は、あらゆる教育活動の中で、人権意識を高める取組をしている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生76% 2年生82% 3年生77%  
となりました。  
本校では、人権教育を教育活動の根底に据えています。人権意識の向上は子どもだけでなく保護者との連携も大切だと考えています。今年度も、各学年の人権学習講演会を「親子人権学習」として開催しました。今後はSNSをはじめとして、様々な差別が見えにくくなったと言われる現代において、様々な人権問題の解決に向けて、あらゆる場面を通じて学習を深め、保護者とともに学ぶ機会を設け、さらなる充実を図ってきたいと思います。（昨年度満足度 71%）

評価満足度 78%

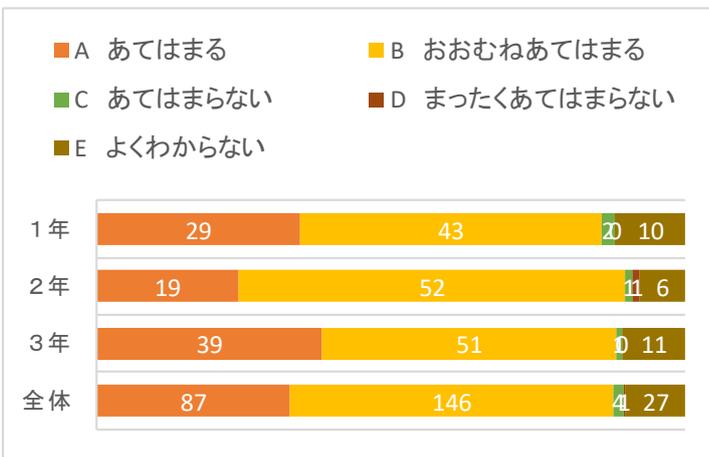
### 6. 学校は、学級で生徒一人ひとりの思いが出せる機会を設けている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生65% 2年生59% 3年生66%  
となりました。  
昨年度よりも肯定的な回答が少し高くなったものの、6割をやや上回る程度であり、学校生活の中で、一人ひとりが思いを出し合える場面をさらに創出していく必要があると考えます。自分の存在を認め合い、個人の人権が大切にされていると実感できる学級や学年のなかまづくり、雰囲気づくりが今後ますます重要だと考えています。人権教育の充実と関連づけて、今後もより丁寧に取り組を進めていきたいと思っています。（昨年度満足度 57%）

評価満足度 64%

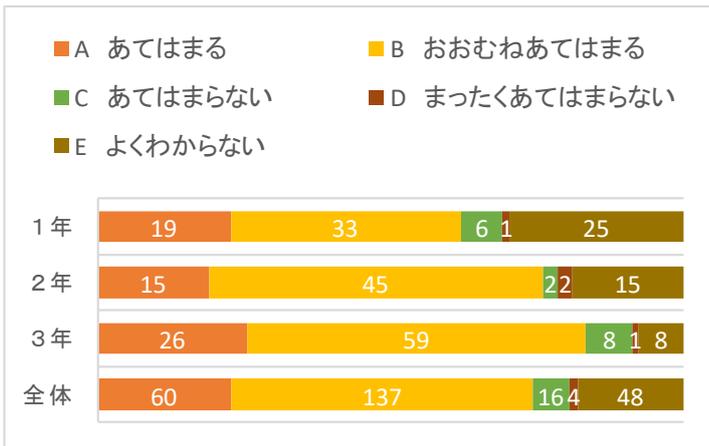
### 7. 学校は、行事等で生徒が自主的に協力して活動する場面を設けている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生86% 2年生90% 3年生88%  
となりました。  
今年度は合唱コンクールや文化祭において、施設の関係上、参加の制限がある中での開催となりましたが、実に多くの方にご参観いただきました。体育祭・文化祭については熱中症対策に課題があると感じていますが、学年や学年の垣根を越えた大きな集団での取組の教育的意義は大きいと実感しています。来年度は開催時期や方法などを検討し、生徒が主体的に取り組み、さらに活躍できるような活動を創っていきます。（昨年度満足度 78%）

評価満足度 88%

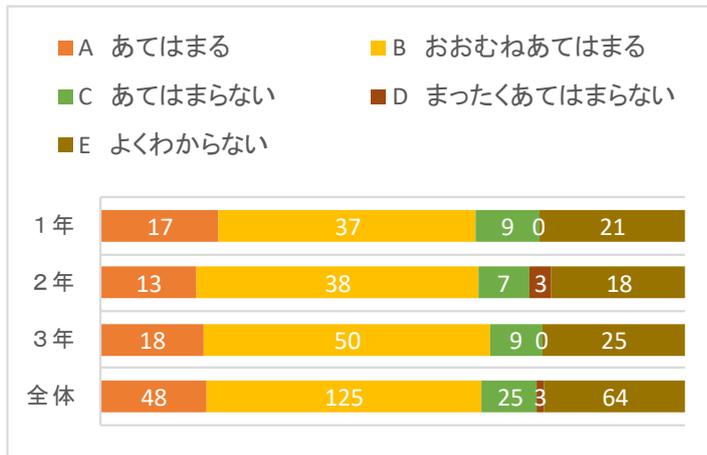
### 8. 学校は、日頃から生徒の思いに耳を傾け、教育相談の機会をもっている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生62% 2年生76% 3年生83%  
となりました。  
子どもの思いに耳を傾ける機会の充実を年度当初に職員間で確認しました。学期ごとの教育相談だけでなく、様々な場面で子どもの心の変容や悩みを受け止める時間を十分にとり、子どもに寄り添う取組の充実を図ってきました。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携して子どもを支援することも大切だと考えます。今後も子どもたちと丁寧に関わり、深い信頼関係を築いていく取組を行ってきたいと思います。（昨年度満足度 69%）

評価満足度 74%

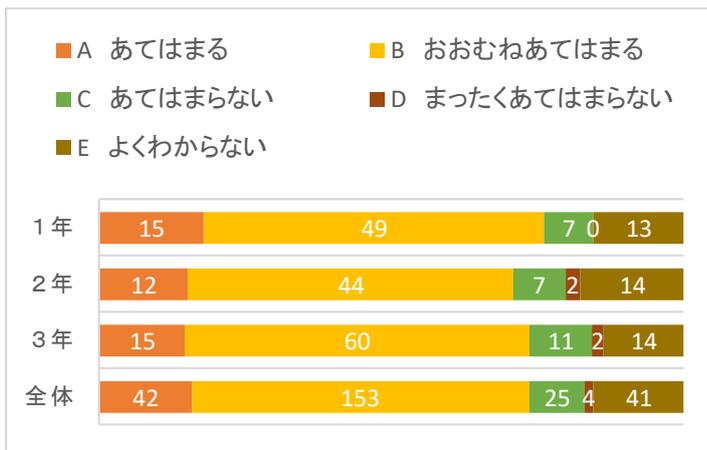
### 9. 学校は、生徒の生活背景等を理解し、個に応じた適切な支援をしている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生64% 2年生65% 3年生67%  
となりました。  
昨年度よりも肯定的な回答が少し高くなったものの、6割をやや上回る程度となっています。本校では、人権教育の視点を大切に、生徒の生活背景をしっかりと受け止め、また特別支援教育を含めた、個に応じた支援の充実を図ることが重要だと考えます。子どもたちの心の変化を敏感に感じて丁寧にに関わり、より一層生徒理解に努めていきたいと思っています。また、関係機関とも連携・協力しながら個々の生徒をしっかりと支援していきたいと思っています。(昨年度満足度 60%)

評価満足度 65%

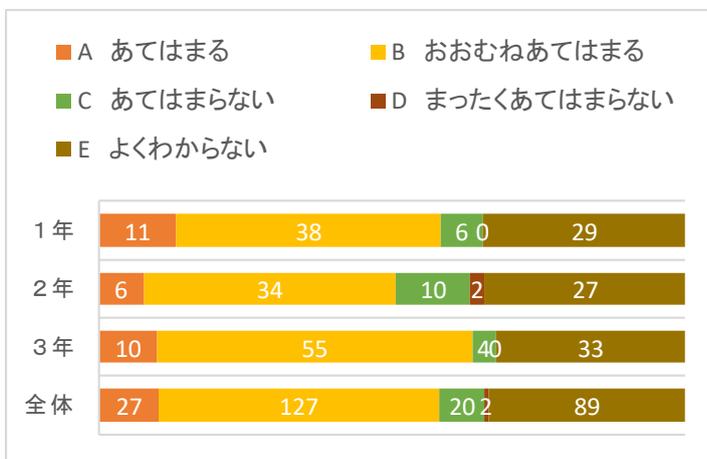
### 10. 学校は、あいさつを励行し、ルールを守るなどの規範意識を高めている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生76% 2年生71% 3年生74%  
となりました。  
生徒たちは礼儀正しく、あいさつもできる一方、交通ルールが守られず心配だ、交通マナーが悪いという声が地域から多く寄せられました。自転車事故も起こっていることから、生徒の交通安全意識を一層高めるため、折あるごとに交通ルールの再確認と指導、また下校指導の強化を図りました。今後子どもたちの命を守るの観点で、呼びかけを継続するとともに、生徒会が主体となり、自らマナーの向上に努める取組を考えていきたいと思っています。(昨年度満足度 64%)

評価満足度 74%

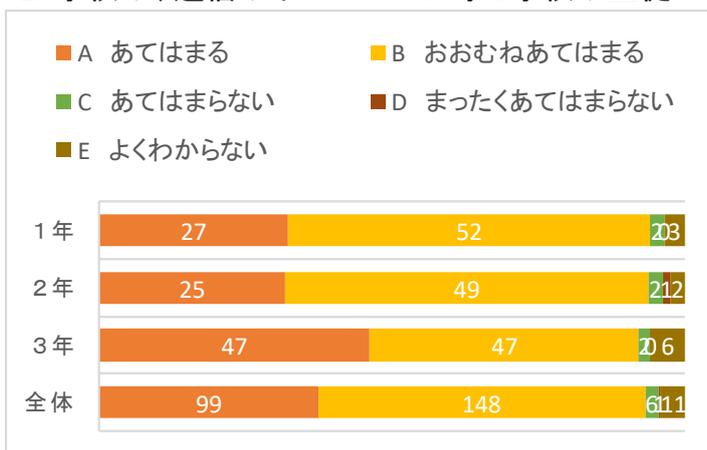
### 11. 学校は、保護者や地域と連携し、人材活用しながら教育を進めている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生58% 2年生51% 3年生64%  
となりました。  
コミュニティ・スクールがスタートし、学校運営協議会や地域学校協働活動推進員が起点となり、絵本の読み聞かせや三上山登山など、地域連携の活動ができました。また地域の方の協力で3年生の保育授業や各学年の性教育講座を実施することができました。一方で、PTAの解散に伴い、保護者との連携の在り方や子どもの教育を支援する活動への参画機会が少ない実態も見えてきました。今後の参画の在り方を模索していきたいと思っています。(昨年度満足度 55%)

評価満足度 58%

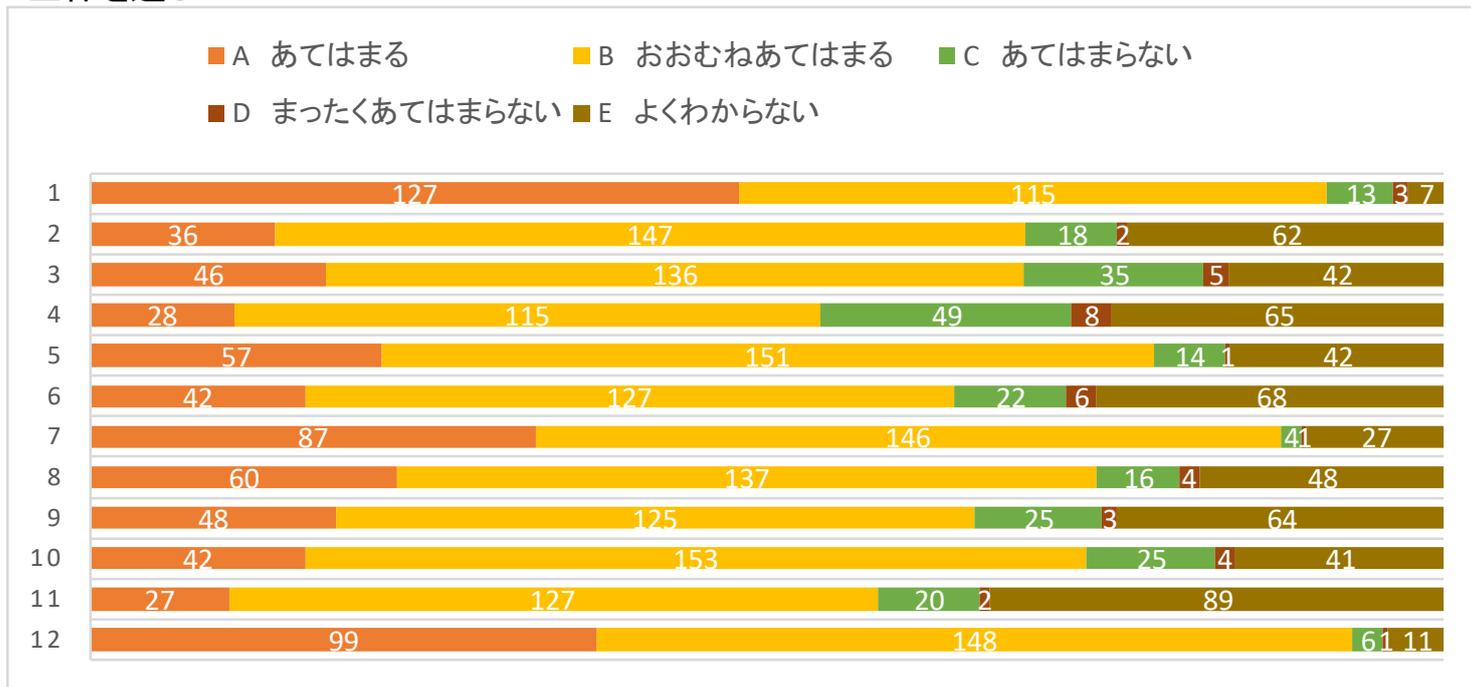
### 12. 学校は、通信やホームページ等で学校や生徒の様子を伝えている。



学年ごとの評価満足度は  
1年生94% 2年生94% 3年生92%  
となりました。  
今年度も学校だよりをホームページに掲載するとともに、学校ブログで学校や生徒の活動の様子など、なるべく多くの情報を発信するように努めました。あわせて保護者配信メール「tetoru」では、学校だけでなく、各担任が学級通信を積極的に発信するなど、生徒や学校の様子を伝えることができました。今後も、生徒や学校の様子を随時丁寧に発信していきたいと思っています。(昨年度満足度 88%)

評価満足度 93%

## 全体を通して



問1、7、12、で8割以上、また問5も8割近くの保護者の方から肯定的な回答を得ることができました。行事等で生徒が主体的に活動する場を設定したことで自己有用感がうまれ、またお互いの存在や人権を認め合い、生徒たちが安心して過ごせる場所として、学校が教育的コミュニティとしての役割を果たしていると考えます。また、学校だより学校ブログ、学年通信や学級通信の発信により、学校や学級、生徒の様子がわかり、ご家庭において情報の共有ができたことも、居場所づくりにつながったのではないかと考えます。

一方で、読書活動や保護者や地域との連携、地域人材の活用については十分でないとの回答が半数近くを占めました。読書習慣の向上への取組の推進や保護者や地域との連携、教育を支援する活動への参画の在り方については、提示や提案の方法について検討し、よりよい取組が推進できるよう、今後も熟議を重ねていきたいと思ひます。

また、生徒の学ぶ力の向上に向けての授業研究や家庭学習の計画や方法についても、7割近くの保護者の方から肯定的な回答を得ていますが、まだ十分でないと言ひます。生徒たちが、「わかった」「できた」と学びの手応えをより実感し、一層主体的に学習に取り組めるよう、わかりやすい授業づくりに今後も真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

また、アンケートで「わからない」と回答する質問も半数近くでありました。tetoruやHP等を活用して、より丁寧に学校からの情報の発信や提供に努めなければならないと考えております。今後も引き続き、学校と保護者が力を合わせて子どもたちの成長を見守っていけるよう、連携を深めていきたいと思ひます。今後ともご理解とご協力をお願いしします。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

野洲中学校 ・ 野洲中学校学校運営協議会